Batteries

電力エネルギーを蓄積し、有効活用する電池システムは、新エネルギーの活用や移動体のハイブリッド化など、 低炭素社会の実現を支えるキーアイテムの一つである。日立グループは、自動車や民生機器、社会インフラなど、 幅広い分野の多用なニーズに合わせた電池を開発し、小型軽量化や安全性の向上など、さらなる高度化に取り組んでいく。



コイン形リチウム二次電池ユニットの外観(左),一円玉とのサイズ比較(右)

コイン形リチウム二次電池ユニット

心電計や脳波・心拍・加速度・体温・呼吸の計 測機器,脈拍センサーといったウェアラブル機器, 多機能ウオッチ, 充電式補聴器, ヘッドセット, 各種センサネットなど、さまざまな分野でアプリ ケーションの開発が急がれている。これらの用途 で使用される電源には小形で、大きな電流が流せ て,長く使用できる電池(充電して繰り返し使用 可能な二次電池) が必要とされる。

今回, 100 mAの放電を可能とした一円玉サイ ズのコイン形リチウム二次電池に, 充電制御, 電 池保護機能,電圧変換機能,残存容量検知機能を 有した小形 (ø 20.5 mm × 5 mm) で安全な電池 ユニットを製品化した。

(日立マクセルエナジー株式会社) (発売予定時期:2012年1月)

ハイブリッド電気自動車用 リチウムイオン二次電池パック

次世代ハイブリッド電気自動車の高性能化に対 応するため、出力密度を3,000 W/kgまで高めた 第三世代のリチウムイオン二次電池を開発した。 この製品は、第三世代セル32個とコントロー ラを一体にした電池パックである。電池セルを連 結するモジュール構造の最適設計と溶接方法の改 良により、電池パックの低抵抗化、小型軽量化を 実現し、セル冷却風流路と非常時のガス排出経路 を完全分離することで自動車内の安全性を確保し ている。

今回,米国·GENERAL MOTORS COMPANY に採用され、本格的な量産を開始した。 (日立ビークルエナジー株式会社)



2 ハイブリッド電気自動車用リチウムイオン二次電池パック

日立評論 2012.01